

刊 夕 日 一 月 五

常磐毎日新聞

定価 一部全紙 五五銭 郵費別
 廣告料 五號十二字 日行 金五銭
 日 曜 祭 日 の 日 休 刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

童話の指導 (四)

寺田 喜治郎

桃太郎の話にも犬が出たり雉子が出たり猿が出たりして、いつも

「桃太郎さん、桃太郎さんお腰のものは何でございませぬ」

「日本一のきび團子」
 「一つ下さい、お伴致しませぬ」

といふ言葉と類似の事件がくり返されて居ます。今昔物語の中に長谷観音に祈つて福を得た男の話がありませぬが立派な童話です。観音様に祈つた薬すべ一本さづかつた。困つたことだと思つてゐると密柑二つにかへてくれた人があつた。ありがたいことだと思つてゐると或人が白布三反にかへてくれた。これはたすかつたと思つてゐると今度は馬一匹になつたその馬で到頭金持になれたといふお話です

が、童話としてのねらひの所は皆つかまへてゐます。◇第五は想像の豊富なことです。子供がいかに想像に富んで居るか 尋常二年の子供の作つたものに

小川のかにさん
 大きな大きな石の下
 おうち作つてはいつて

る
 蟹さん五日も立つたのでお腹の下にお子供をたくさん生んだでございませう。

えいえいたくさん産みました。
 子供はいたづらしてゐます。それではさつぱり出られませぬ。

○明日の献立○
 ◎朝味噌汁ーさつま芋
 小付 やきものり

【晝】南ばんむし(魚葱玉子)
 【晩】カレー粉入り鳴うど

小付 筍辛煮
 菓子をつくれなんていうて

しょうがないのでございませぬ。
 小川の石の下に子供をだててゐる蟹を想像したのであります。「しょうがないのでございませぬ」といふのは

「あ、此の作者の母の口吻をそのまゝ真似たものでせう。アラビアンナイトが子供に愛好されるのはいろいろ變つた點に興味を持つからでもありませうが、その最も大きい點は何といつても想像の自由奔放な面白味です。尤もその想像も過度

になつて子供の頭を困惑させる程度のものであつたり大人の想像であつて子供に親しみの持てないものであつたりしてはなりません。

◇第六は探究性の強いことです。子供は大人になるまでに人類が太古から現代に致るまでに経て来た文化の過程を大急ぎで復習するものだといはれてゐますが、全くその通りで、野蠻人種又は未開人種が感じた所の神秘さを子供は夥しく持つて居ります。

常磐文藝
 春を求めて

雲か霞か——と歌ふは衣裳小道具の車を旅から旅へ運ぶ旅藝人の群だ

「あの街に着いたら」と彼は望みを掛けて口をつむんだし

それがおかしいと女達は笑つて

「何處だつて同じことよ」と云ふ

水車は悠々音を立て

空に風なく

鶯一羽山下に舞ふてゐる

△ 生

△ 生

産人科 院長 木村寅次郎
 婦人科 醫學博士 内木宗八
 外科 藥劑士 大岩俊雄
 平町新川町十九
 病室完備 入院隨意
木村病院
 電話一六四番

石炭
 コークス
 豆炭
 阿部石炭店
 平驛前
 電話三十七番

外科 一般
 内臓科
 花柳病科
 肛門病科
 レントゲン科
 物理療法科
 北川外科
 平町新川町二七
 醫學博士 北川芳夫
 醫學士 奧義弘
 技師 小林良次

皆様の足?
 尼子タクシーへも豆タクが入りました
 御立關から立關へ 迅速簡便
 是非御利用を
 市内 三〇銭
 市外 四割引
 流線型セダン
 大型貸切バス
 宮行——直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします
 平町二丁目
尼子自動車商會
 電話六四〇番

お花見の……
 折詰
 辨當
 是非御用命下さい


光の春を駆て!
 皆様旅のガイド
 不二の車は待つ
 タクシー不二
 未知ノドライブコース
 才問合セ下サイ
 電話三二番

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番


和漆器家具は和久屋
 平町三丁目
 電話四〇番

氣懸りな

愛児の健康

無料で診療する

希望者は區長の許へ

既報平町役場は明二日より八日迄の児童愛護週間に市内各醫院と連絡をとり児童の無料診療を行ふので本日各區長に無料診療券を配布した希望者は各區長に申込まれ度いと

電気制動

緩驛に取付

常磐線緩驛は今回工費千三百圓で電気装置の制動合圖器をホーム三ヶ所に取付けたがこの機械にすると電鈴によつて一瞬に判る能率的なものである

貧血馬の検診

石城産馬蓄産組合は此程傳食馬の検診を行つた處三坂村國

戸數割申告

一日も早く届出られたい

既に締切日を経過

既報平町の十一年度特別戸數割申告は昨日を以て締切り本日町役場に區長の手から提出された申告書は千三百名(總數四千九百名)であるが全部の届出を了する迄には二三日を要する

様で此際申告済みの向は至急各區長に届出られたいと
片倉業績好況 平町片倉製糸會社は廿九日株式總會を開いたが生糸景氣の好影響から業績頗るよく純

益四萬二千圓で株主配當は三萬五千圓(年七分)といふ數年振りの好結果を示した

第三校も遠足

過般降雨の爲め延期された平第三小學校の遠足運動會は今日左の如く催された
一年松ヶ岡公園 二年夏井村如來寺 三年白水阿彌陀堂 四年新舞子 五年關御井嶽 六年鹽屋崎燈臺

壯丁學調委員

篠山 平第一、千葉第二、赤津第

流線型が

愈よ飛ぶ

検査終了して

既報去る十七日常磐線に配給された九五型流線型機關車は水戸車庫で検査中だったが愈々来る四日平水戸間に本格的試運転を行ふ事に決定當日は東京鐵道種々協議した

社告

小野武雄

右昨日限り退社

五月一日

常磐毎日新聞社

局の工作運轉工務の各課より技師が派遣され客車一臺を増結して各種試運を行ふが流線型機關車は幅が廣くホームに接觸難がある

三各小學校長及各首席訓導は来る六月十日より二十四日迄平第一小學校講堂に於て執行される郡下壯丁検査の學力調査委員に任命され

平驛代表選手

平驛運動部員の左記五君は來月下旬東鐵主催で開かれる管内驛員の競技會に水戸運輸代表として出場する
(庭球) 塚本茂 (柔道) 三段白井晃、二段坂本文彦(剣道) 二段志賀義一 同日下部三郎

平町人事

△銀治町 當時樺太眞岡郡 蘭泊村吉田忠行氏長男尙文さん
△田町六五 丹野淳氏二男 琢也さん
△結婚 姻
△内郷村字仲平遠藤正直氏 (二八)平町南町高木道子 (二二)さん

店主が居る
を連れる
か
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場
平・田町
レストサロン
電話三五二番

看護婦急派
求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七

市原醫院
平町・田町
電話一四四番

糸イラズ

此の間マスキンの實演を御覧になつて大体は皆様糸イラズの便利經濟なる事がおわかりになりましたせう、御用の御方は左記販賣店にありましますから何卒御便宜の所で御求め下さい。

平町古鍛冶町縣社の下
糸イラズ代理店
藥の相談所
阿康藥局
電話 四四四番
振替口座 東京三〇六五

平町田町 藥舖
平町一丁目 藥舖
平町水野 藥局
平町武田 藥局
好間村稻荷下 商店
阿康藥局支店 (品切れの際は電話四四四番へ)

平町材木町 商店
平町新川町 商店
平町清水町 藥舖
平町仲間町 藥舖
好間村元山 商店
好間村元山 商店

歯科口腔外科
レントゲン科

院長 東京齒科 原 精一
電話 三一三番
原齒科醫院

井坂醫院
平町田町 電話五五九番

門 專
婦 産
花柳病科
婦人科
◎入院隨意

奇怪な申立て

強盗の共犯関係

果して眞犯人は何人か？

▽平署は冤罪と認む

既報去月廿二日湯本地内平署員に檢舉された茨城縣那珂郡檜澤村生れ長岡伊平(三)は同村鬼澤辰之助(三)と共謀茨城縣で強盗を働いた旨自供したので

安藤刑事 部長は去る廿五日茨城縣に出張鬼澤を逮捕取調するとスラ、犯行を自白した、處が右の強盗共犯には同村の木村宗義(三)が檢舉され木村は水戸地方から

大審院迄 上告して無罪を主張したが却下され懲役五年の刑が確定、水戸刑務所服役中肺の爲め昨年五月から假出獄し自宅療養中で主犯長岡も昨年六月出獄し事件は

完結した 事になつて居るが平署に於ける長岡の自白で木村は冤罪で強盗の汚名をさせられた疑ひが濃厚となつたので安藤部長は廿九日再び茨城縣に出張慎重取調べ昨夜歸署したがこの冤罪か？眞犯人か？をめぐり奇怪な

上告し却下出所するや兄一藏(五)と相談して主犯の長岡とその知人鬼澤を買収し四名がぐるになつて眞犯人の替玉をでつち上げ

計画的に 長岡が平地方に入り込んで檢舉されると同時に鬼澤が共犯人だと自白し、鬼澤もスラ、自分の犯行だと自供して木村の犯罪を巧みに隠匿したの

ではないかといふ觀測もされたが平署の審理に依れば矢張り共犯の眞犯人は鬼澤辰之助で木村は全然事件に關係がなかつたものと認めらるに至り一日午後齋藤司法主任は平檢事局清田檢事に捜査經過を報告すると共に鬼澤を強盗犯人として送局する手續を取るに至つた

歸らぬ女房に

面當ての自殺

湯本町字三函八右工門長男坑夫佐藤市藏(三)は去る廿九日夜七時頃自宅でカルモチン自殺を圖り生命危篤であるが原因は昨年七月横須賀市田浦中町通りの宗太郎三女伴キヨ子(三)と夫婦約束をし同棲中女の親が病氣で歸國した儘歸つて來ないのを悲觀してゐると

河岸に轉る

屍体の身許

懷中には食券

箕輪村大字大和地内好間川附近に昨卅日午後五時頃三十才位コーレンの勞働服を着た職工風の男の屍体あり

るを通行人が發見平署員が檢視した處懷中には本橋と印した木印と昭和八人絹工場

の食券とを所持して居り劇

明日のラジオ

今晩は北東の風 曇り後小雨明日は北南の風曇後晴

今晩の部

- 後六〇〇 子供の音楽會 吉澤園子他
- 後七三〇 講演「我國財政の今昔」牧野輝智 九段 精國神社能學堂中繼
- 後八〇〇 落語 柱文樂 後八二〇 講演 一龍齋 貞山
- 後八五〇 琵琶吉水錦翁

明日の部

- 前六三〇 基礎フランス語講座 丸山順太郎
- 前七〇〇 朝の修養「觀藥自殺らしいが身元が判明しないので照會中

自稱檢事殿

皮をはがれて

留置場へガチャリ

湯本町字笠井飲食店福井亭事鹽田辰三郎方で昨卅日夜九時頃一圓三十五錢の遊興代を請求された男が俄、俺は最近福岡縣から平へ轉任して來た檢事だが巡査駐在所に行けば金が出来ると威

列車飛降り犯人

昨日懲役刑を言渡さる

既報平町ツルヤ洋品店其他十數軒の店頭を荒し二百五十餘圓の窃盜を働き助川方面に逃走したが逮捕され平署へ護送の途中係官の隙を見て幕進中の列車より飛び降り散々手をやかした内郷村大字高坂宇立野五七運搬夫箱崎一郎(三)及共犯同村大字宮字中澤一〇鈴木秀一(三)の兩名に係る窃盜事件

便乗抽籤

今度は縣で

既報來る廿三日來年度海軍點呼の爲め小名濱に入港する軍艦本會は翌廿四日點呼を執行、午後一時から四時迄一般の觀覽を許し廿五日午前六時同港出帆便乗者六十五名を乗せ、宮城縣女川港に向ふが便乗希望者の抽籤は縣に於て行ふと

裁判所だより

- △四倉町字原田自動車運轉手續方與平(三)は去る一月二十八日同町仲町地内國道に於て乗合自動車運轉中折柄通り合した大浦村門馬丑松(三)に衝突頭部に全治八日間を要する打撲傷を負はせ業務上過失傷害罪として罰金三十圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處
- △出前持 十五六才 給面談
- △難夫 四十才迄 尋卒 給料面談
- △難役夫 四十才迄 給五圓外仕着
- △職を求めの方
- △石炭配達 卅才迄 給十五圓
- △自動車修繕見習 廿五才 高卒
- △自動車助手 廿六才 高卒
- △事務員 中才 高卒

「一寸法師」オハナシクラ

- 後六、二五 青年の時間
- 「青年の叫び」越司久夫他
- 後七、三〇 管絃樂「旗に寄する三部作」日本放送交響樂團
- 後八、〇〇 尺八 宮川如山他
- 後八、一〇 小唄 長生秀
- 後八、二〇 物語「歡喜のフイナー」夏川靜江
- 後九、〇〇 時報解説「經濟上より見たる日埃日濠問題」谷口吉彦(京都)

無量壽經「藤秀翠(廣島)前九、〇〇 衛生メモ」前九、三〇 母の時間

「子供と睡眠」齋藤潔

後〇、〇五 訪日官詔記念日滿交際放送「ゾーカ」フオアル合唱團 杵屋勝五郎他(東京)新東京公學校兒童 新東京劇社古樂班 團演劇員(新東京)

後一、〇〇 六大學野球試合實況(神宮球場中繼)

後二、〇〇 家庭講座「菊の植ゑつけと朝顔の蒔き方」渡邊誠一

後六、〇〇 幼兒への昔噺

軍艦本會の便乗抽籤

既報來る廿三日來年度海軍點呼の爲め小名濱に入港する軍艦本會は翌廿四日點呼を執行、午後一時から四時迄一般の觀覽を許し廿五日午前六時同港出帆便乗者六十五名を乗せ、宮城縣女川港に向ふが便乗希望者の抽籤は縣に於て行ふと

自稱檢事殿

皮をはがれて

留置場へガチャリ

湯本町字笠井飲食店福井亭事鹽田辰三郎方で昨卅日夜九時頃一圓三十五錢の遊興代を請求された男が俄、俺は最近福岡縣から平へ轉任して來た檢事だが巡査駐在所に行けば金が出来ると威

河岸に轉る

屍体の身許

懷中には食券

箕輪村大字大和地内好間川附近に昨卅日午後五時頃三十才位コーレンの勞働服を着た職工風の男の屍体あり

るを通行人が發見平署員が檢視した處懷中には本橋と印した木印と昭和八人絹工場

の食券とを所持して居り劇



(橋上談上)

悟道軒圓玉(作) 丸尾至陽(書)

一〇九 一味江戸入り

お花は八百松に向ひ

花「矢切の渡しから川に落ち、下へ流れたが蛇籠にすがつてやうやく這ひ上り堤下まで来ると地藏堂が目についたからそのお堂に上つて休んでゐると、こゝにゐる甚太といふ人がつづらをついでそこへ来て兼松とかいふ者をむかひに行つたその後で、つづらから着物を出して着てにげようとしたが今もいふ通りつかれてはゐるし足はいたむし、五間とあることが出来なからそこをこのつづらに入つてこの人にかつがれて行くところまで行かうと決心したのさ」



持つて来たな、ヤイ清六

とそこにある矢切の船頭を呼び

松「此兼松のふところをあらへ」

清「野郎、金があるならこゝへ出せ」

手を入れて引き出した財布、底をはたくと卅兩出た

八百松はそれを取上げて

松「けちなことをする奴だ

百兩にたりねえ金で大事な首をもとで悪事をすると、さりとて無分別な奴だこの金は俺があづかつて置く、また品物はこの金と一緒に返してやる」

甚「それは御苦勞様でございます、オイ兼松こんな馬鹿な目にあつたことはねえ、命がけでものした品物と金を兄はとられるとは何う考へても算盤に合はねえ」

兼「仕方がねえ、これも地藏様の罰だとあきらめろ」と二人は苦しい顔をした、す

花「青木の旦那は何處へ行つたの」

青木はお花をたづねながら清六に別れて陸を市川に

来て同志のもとに一夜とまることにした、そこへ八百松と清六にお花の三人が来たがこの市川に居つた青木の同志は古田主税と申す者一同こゝで落ちつた、し

しながらこゝにはあられな、翌日青木に本多孫三郎岡田盟、お花及び八百松は姿を變へて江戸に入り青木の住宅本所割下水の屋敷に入つた、旗本屋敷には町奉行また市中取締の大岡源右衛門たりとも手を入れることは出来ない、今まで屋敷の周圍に見張りがあつた故入ることが出来な

だが今見張りも引上げたと察して屋敷に戻りました、これから彌太郎はいよいよ同志を糾合して横濱に居る外國人をうち拂ひ日本武士の意氣をしめし花々しく死ぬ覺悟、それについて當時將軍家御側御用お取次を勤めてゐる小笠原加賀守の隠居單齋に

面會して自分の意中をつけて一世の別れをつけやうと

番町の屋敷に出て来た、この單齋は彌太郎を少年の頃より愛してゐたが近頃青木の行爲によろしからざるこ

とがあると聞いて前途を案じてゐる、それで青木は法にそむいたことをするは攘夷を執行する一つの手段、

そのことを單齋につげる意

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

志、かういふわけで屋敷に出で参つた。

妻コト儀病氣の處卅日午前九時廿分死去致候

追而 葬儀は五月二日午後二時自宅出棺、佛式により長源寺に於て告別式相營可候

四月卅日

平町胡摩澤 花澤久一郎 男 外親戚一同

貴方の御家庭に

本會を御利用下さい

直に家政婦派出します

親切 料金は極めて低廉で
町導 妊産婦の御家庭 留守居番
御病人の付添 炊事や雑用 年寄やお子さんの付添

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二三番)

上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

小瀧へ!!

- ◇宿泊料 1.50 2.00 2.50 (御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)
- ◇日歸浴席料 .20
- ◇自炊料 .50-.80
- ◇料理一定食 .80 1.00 1.50
- ◇湯 効 神痛、リウマチス、胃腸病、痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所檢定済)
- ◇諸設 備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間、讀書室、近代式浴場、洗面所、水部、洗式便所、小動物園、タクシー、御子運動器具
- ◇名物 川魚料理(うなぎ、鯉、蜂蜜羊かん)

●女中數名入用●

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉 御旅館 瀧の湯 電話 (小名濱) 103番